

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール研究報告

私たちが映画に求めるもの

2006年2月

情報学部 広報学科 3年

井坂 裕子

私たちが映画に求めるもの
井坂 裕子

目次

第1章 研究の概要	・・・ 1
1. 1 研究の背景と目的	・・・ 1
1. 2 研究の方法	・・・ 1
(1) 進捗経緯	
(2) 研究の概要	
1. 3 成果の概要	・・・ 2
 第2章 研究の成果	・・・ 4
2. 1 回答者の概要	・・・ 4
2. 2 日常生活と映画の関係性	・・・ 5
(1) 映画館とレンタル利用の頻度	
(2) 映画館とレンタル利用の差	
(3) 媒体別の見るジャンル差	
(4) 映画を見るきっかけと媒体の差	
(5) 映画を見て持つ感情の差	
2. 3 映画に対しての男女の差	・・・ 12
(1) 映画を見る媒体の男女差	
(2) 媒体別映画のジャンルと男女差	
(3) 映画を見て泣いたことがあるかどうかの男女差	
2. 4 時間的、金銭的方面から見た映画	・・・ 15
(1) 金銭感覚と映画	
(2) 時間的余裕と映画	
 第3章 まとめと今後の課題	・・・ 18
参考文献	・・・ 18
単純集計結果	・・・ 19

第1章 研究の概要

1. 1 研究の背景と目的

私たちは普段何気なく映画を見る。そのジャンルは様々だ。アクション、ラブロマンス、コメディ、…。そのときの気分によってそれは娯楽になり、趣味になり、また他のものにもなる。

きっかけによって目的を持って映画を見ることがある。予告を見たとき、好きな出演者や監督のときは、どの映画か限定して見る。気分転換したくなったときは、何の映画か別にこだわらないで目に留まったものを見る。

映画を見る手段として大きく挙げられるものが2つある。ビデオ・DVDをレンタルする方法ともう一つは映画館で見る方法だ。その中でも映画館で見る人よりビデオ・DVDを借りて見る人の割合の方が断然多いと考えた。実際に、映画館は値段が高い。レンタルはその手軽さ、値段の安さに私たちは惹かれて借りる。

ゆえにレンタル利用重視で考えを進めると、「人が映画というものに一番何を求めているのか」が分かると推測した。今回の調査ではレンタル利用と映画館利用での求めているものの差を求めようと思う。

1. 2 研究の方法

(1) 進捗経緯

- ・ 6月：テーマ企画。
- ・ 7月：テーマ討論会。
- ・ 9月：ゼミ合宿討論会において具体的な設問完成。そのあと改良して最終調査票完成。
- ・ 10月：調査票の配布、回収。単純集計を行った。
- ・ 11月：単純集計結果をゼミ内で発表。
- ・ 12月：研究結果提出。

(2) 研究の概要

<調査の意図>

- ・ 映画について、ビデオ・DVDを借りて見る人、映画館で見る人はそれぞれに理由があるのか。
- ・ 映画が生活の中である位置づけがされている（密着している）か。

- ・映画館派とレンタル派では借りるジャンル、映画を見終わったときに持つ感情にはあるか。
- ・レンタル利用は現実志向、映画館は理想志向という理論は成り立つのか。

<調査対象者>

文教大学・短大の学生

さまざまな学年・学科の人に調査を依頼したかったので、自分で手渡しや知り合いに回答してもらった。

- ・部活動・サークル（約 80 名）
- ・ゼミナールⅡ（約 30 名）
- ・その他手渡し（約 30 名）

<調査方法>

授業中、休み時間、部活動・サークルの活動時間中に配布し、回答してもらった。

<主な質問項目>

- ・映画を見るときに媒体の差。
- ・映画館に行くこととレンタルする頻度・ジャンル差。
- ・どんなときにどんな映画を見たいか。
- ・きっかけによっての媒体の差。

<依頼数>

134 枚

<回答数>

130 枚

1. 3 成果の概要

レンタル派と映画館派で求める感情には細かい差が見られたが、特に明確ということではなかった。ただ映画館派は「恐怖感」を求める傾向が少ない。男女での映画を見る媒体の差は男性の方がレンタル利用の回数が多く、女性の方が映画館利用の回数が多い。男女

での映画のジャンル差は男性の方が「アクション」「ドキュメンタリー」「ホラー」が多く、女性の方は「ラブロマンス」が多かった。映画館へ行くきっかけについて調べたところ、ほとんどのきっかけで映画館が多いと答えた人が多かった。逆に、「ヒマなとき」「なんとなく」のときだけレンタルが多いと答えた人が多かった。意外にもアルバイトなどで忙しい人の方が拘束時間の短い人より映画館に行く頻度が高いことが分かった。このことから映画館に行く回数は時間的余裕があるから増えるというわけではないようだ。金銭的に見るとやはりアルバイトなどしてたくさん稼いでいる人の方が映画館に行く頻度が高かった。このことから映画館に行く回数は金銭的余裕があるから増えると言える。

第2章 研究の成果

2. 1 回答者の概要

回答票は手渡しを基本で回収した。この場合、回答標本は無作為抽出で作成してはいないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表2-1-1と表2-1-2で確認しておく。表2-1-1の学年別の分布では、3年次の回答が多く、次に2年次の回答が多かった。また表2-1-2の性別の分布では、男女比がほとんど一致している。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかしクロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定され则认为られる。

【母集団を湘南キャンパス学生と見た場合】

表2-1-1 回答者と母集団の比較 2005.10 末時点

	1年次	2年次	3年次	4年次	計
回答者	16.9 (22)	23.1 (30)	55.4 (72)	4.6 (6)	100.0 (130)
湘南キャンパス 学生	24.4 (747)	26.1 (799)	23.7 (727)	25.8 (790)	100.0 (3063)

(注)母集団は湘南キャンパス学生(2005.10 末時点)である。

表2-1-2 回答者と母集団の比較

	男子	女子	計
回答者	55.4 (72)	44.6 (58)	100.0 (130)
湘南キャンパス 学生	56.5 (1730)	43.5 (1333)	100.0 (3063)

(注) 母集団は湘南キャンパス学生(2005.10 末時点)である。

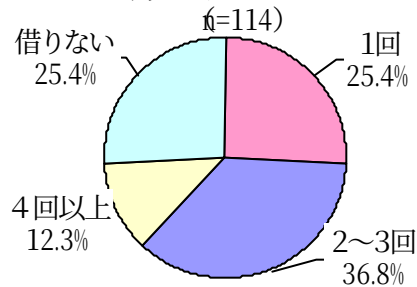
2. 2 日常生活と映画の関係性

(1) 映画館とレンタル利用の頻度

回答者 130 人のうち映画を見る人は 125 人で、レンタルで見る人と映画館で見る人に限ると 114 人である。その人たちが 1 ヶ月にビデオ・DVDをレンタルする回数を調べたところ、図 2-2-1 が得られた。

約 37%の人が 1 ヶ月にレンタルする頻度を「2～3回」と答えた。次に多いのは「1回」「借りない」の約 25%である。約 4分の1は借りないが、全体の平均は 1.8 回／月であり、借りる人の平均は 2.4 回／月である。

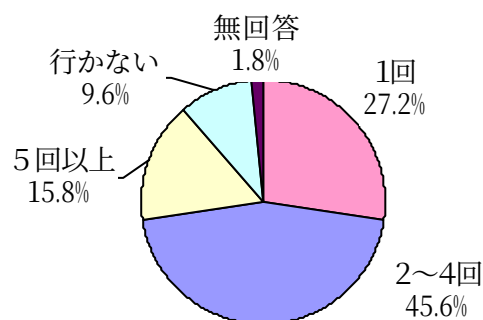
図2-2-1 1 ヶ月にビデオ・DVDをレンタルする回数



次に、映画を映画館で見る頻度が多い人に回数を聞いてみた。それを集計した結果を図 2-2-2 に示す。

約 46%の人が半年に映画館に行く頻度を「2～4回」と答えた。次に多いのは「1回」の約 27%である。期間が長いこともあるのか、2回以上と答えた人がレンタル回数の2回以上と答えた人より多かった。

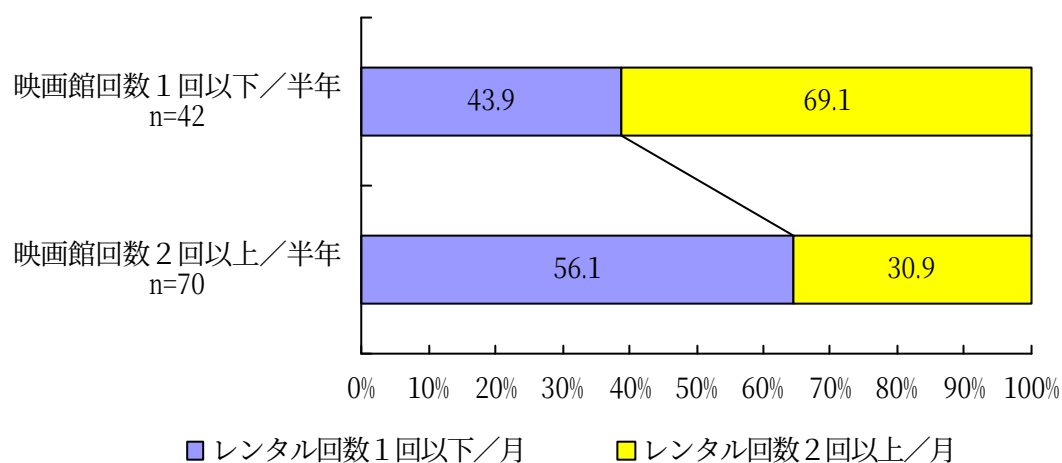
図2-2-2 半年に映画館に行く回数 $n=114$



次に図2-2-2を参考に1回以下と2回以上のグループを作った。映画館に行く回数別にビデオレンタル回数を集計した結果を図2-2-3に示す。

同図によると、「レンタル回数2回以上/月」の人は「映画館回数1回以下/半年」の方が多い。反対に、「映画館回数2回以上/月」行く人は「レンタル回数1回以下/月」の方が多かった。なお、 χ^2 乗検定は $p=0.157$ と有意性がなかった。

図2-2-3 映画館に行く回数別に見たビデオレンタル回数
(χ^2 乗 $p=0.157$)



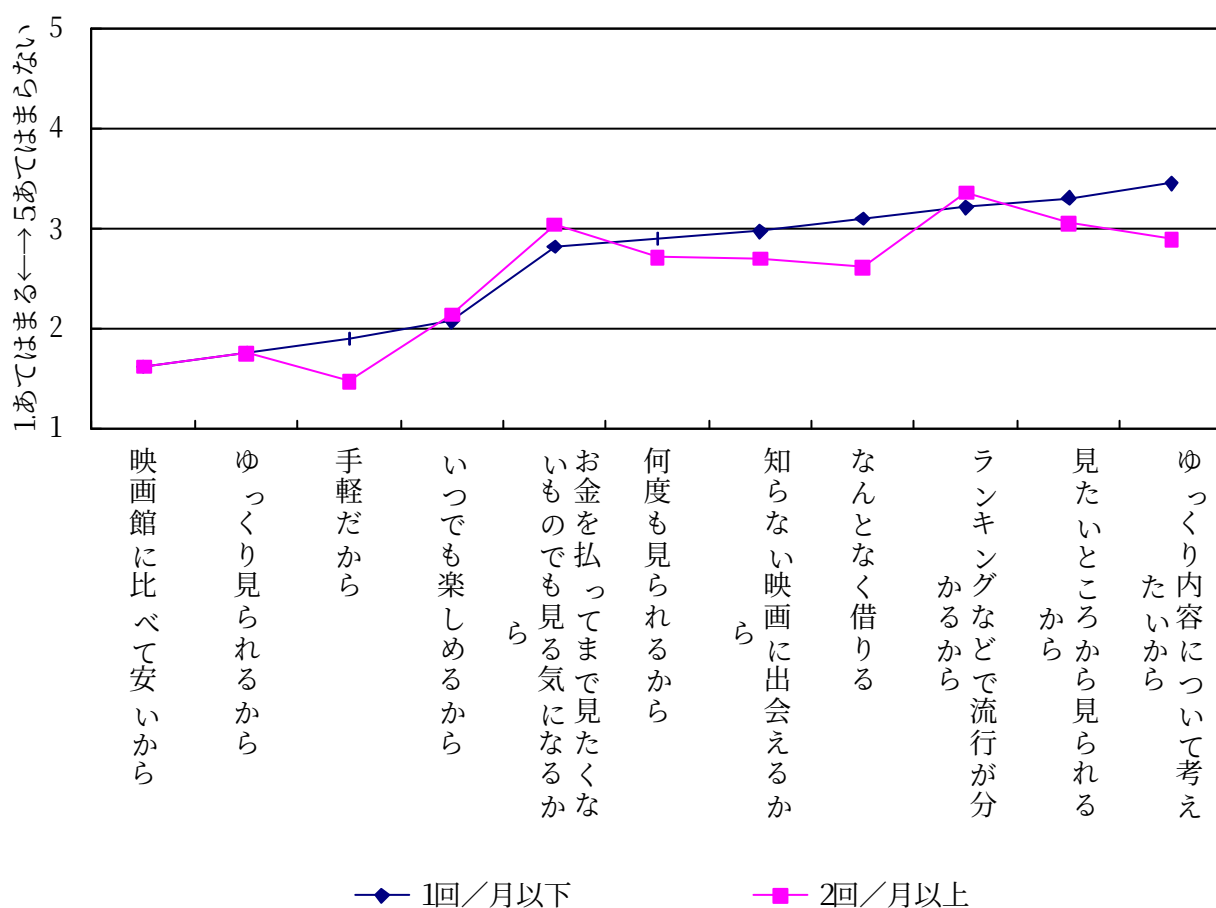
(2) 映画館とレンタル利用の差

1ヶ月にビデオ・DVDをレンタルする回数別に、その理由について集計した結果を図2-2-4に示す。この図はレンタルの理由に対して、「1. あてはまる」～「5. あてはまらない」の5段階評価をしてもらい、その平均値を求めたものである。1に近ければあてはまる度合いが高くなっている。

全体的に回数グループ別の差はなかった。しかし、理由の項目間では明確に差が出た。

「手軽だから」「映画館に比べて安いから」「ゆっくり見られるから」「いつでも楽しめるから」の4つはあてはまると答えた人が多かった。また、レンタル2回以上／月の人は1回以下／月の人よりも「手軽だから」という理由でレンタルしていた傾向が見える。

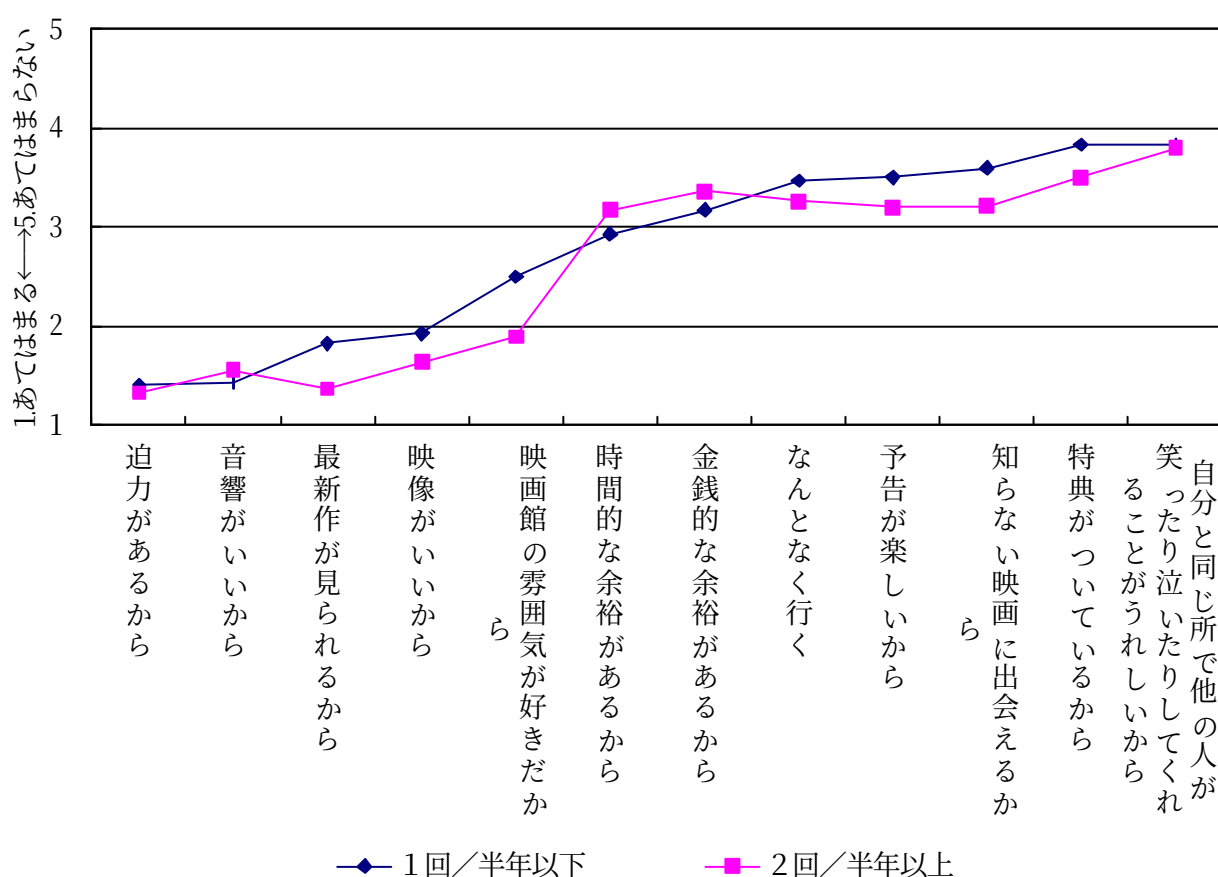
図2-2-4 レンタル回数別のレンタル理由 (n=114)



上記とは対称に、映画館に行く回数別に、その理由を集計した結果を図2-2-5に示す。この図は映画館で映画を見る理由に対して、「1. あてはまる」～「5. あてはまらない」の5段階評価をしてもらい、その平均値を求めたものである。1に近ければあてはまる度合いが高くなっている。

類似した傾向だが、2回／半年以上の方があてはまる度合いが多い。「時間的な余裕があるから」「金銭的な余裕があるから」では2回／半年のグループは1回／半年以下のグループよりあてはまる度合いが少ない。このことから映画館に多く行く人は時間的、金銭的な余裕では映画に行かない。また、「最新作が見られるから」「映像がいいから」「映画館の雰囲気が好きだから」では2回／半年以上の方があてはまる度合いが多く、この3つの理由は映画館の促進要因と見られる。

図2-2-5 映画館回数／半年別の映画館利用理由 (n=112)

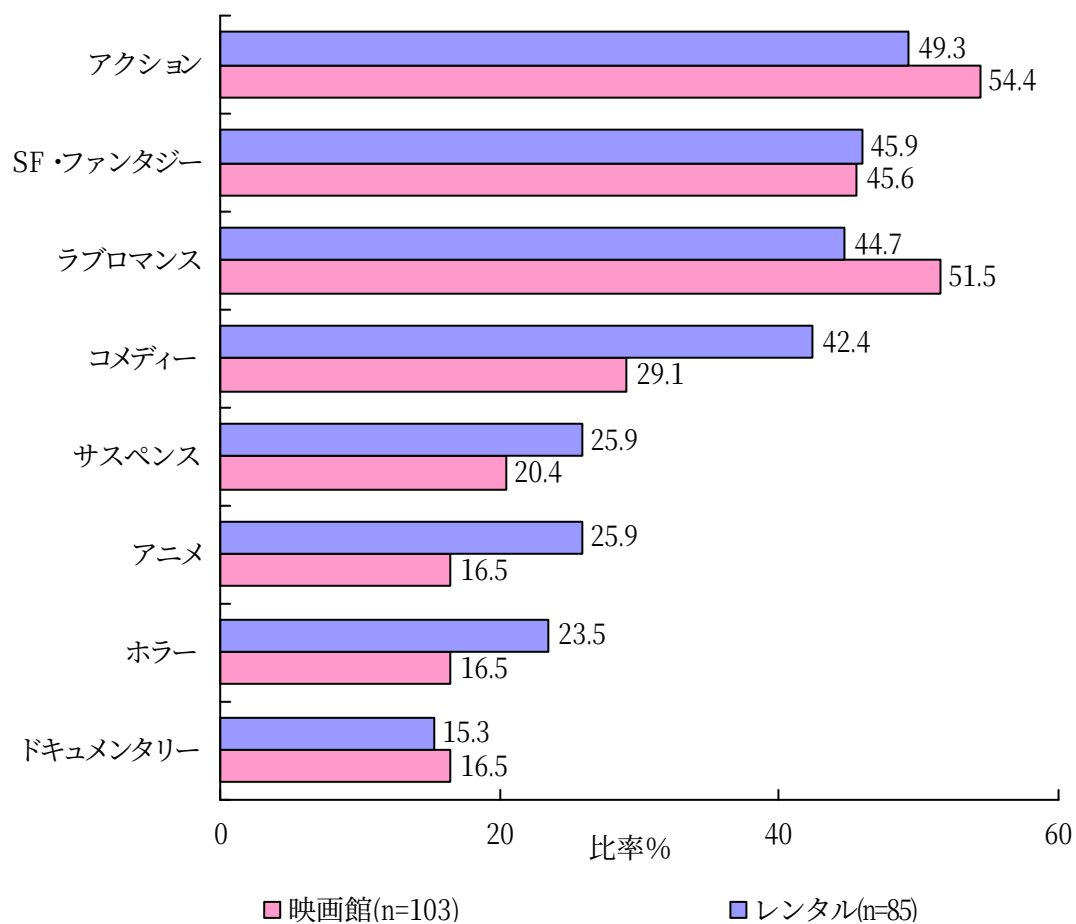


(3) 媒体別の見るジャンル差

初めにレンタルする人としない人を調べ、レンタルする人からレンタル利用時のジャンルを聞いた。次に映画館へ行く人と行かない人を調べ、映画館に行く人から映画館利用時のジャンルを聞いた。その2つを集計した結果を図2-2-6に示す。

レンタルと映画館のどちらとも「アクション」「SF・ファンタジー」「ラブロマンス」を見る人が多いということが言える。反対に「サスペンス」「アニメ」「ホラー」「ドキュメンタリー」を見る人は少ないということが言える。しかし、「コメディ」はレンタルでは4割を超えていたが映画館では3割にも満たないという明確な差があった。このことから「コメディ」を見るときは映画館特有の迫力などを求めていることが分かる。

図2-2-6 媒体別利用ジャンル差



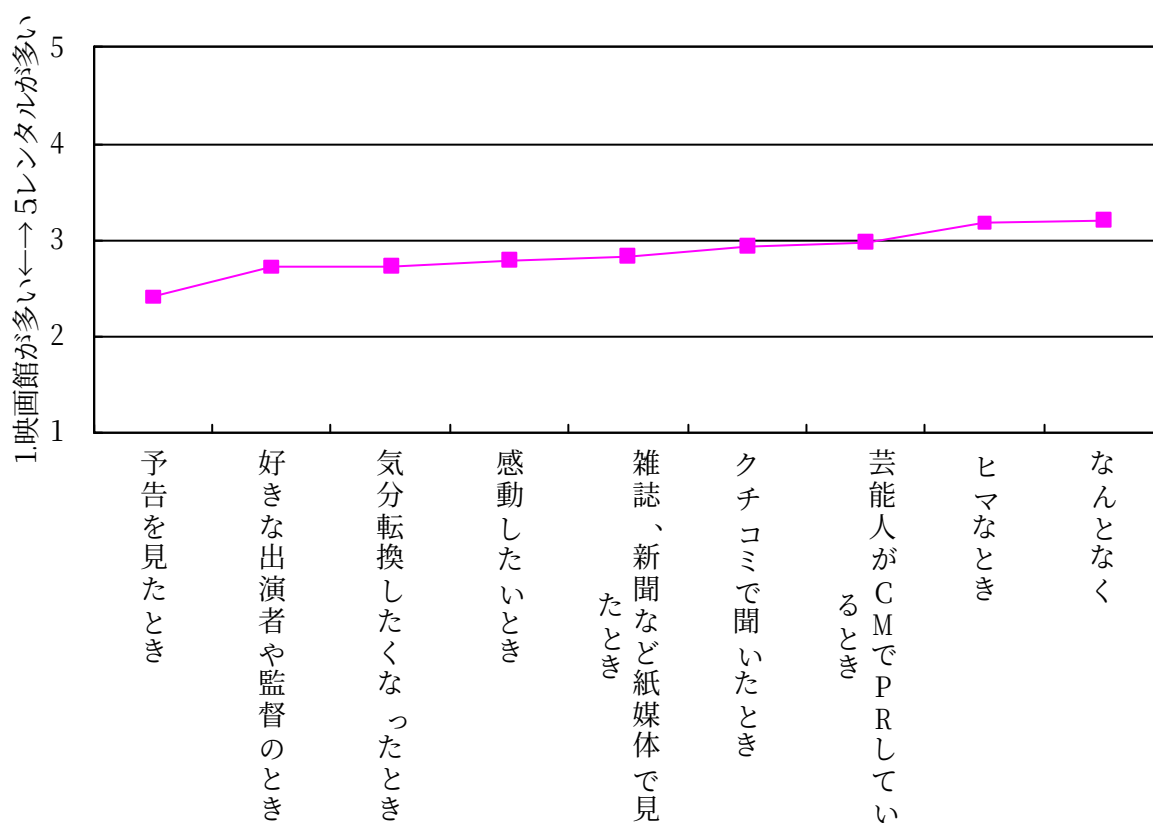
(4) 映画を見るきっかけと媒体の差

映画を見るきっかけ毎にどちらの媒体利用が多いか集計した結果を図2-2-7に示す。この図はきっかけに対して、「1. 映画館が多い」～「5. レンタルが多い」の5段階評価をしてもらい、その平均値を求めたものである。1に近ければ映画館利用の度合いが高くなっている。

映画館に行くときは「予告を見たとき」がきっかけになっていることが多く、レンタルするときは「ヒマなとき」がきっかけになっていることが多かった。

全体的にみると、どちらでもないという回答が多かったが、やや映画館のほうがかきかけに基づいて映画を見るということ傾向が見えた。

図2-2-7 映画を見るきっかけ別の媒体差(n=125)



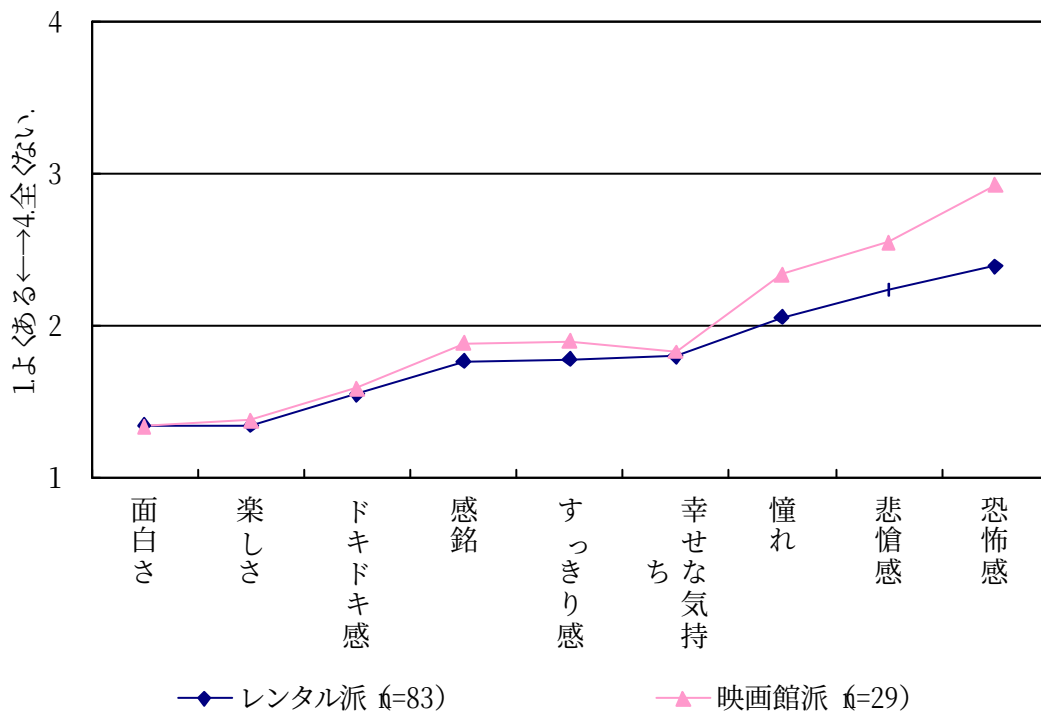
(5) 映画を見て持つ感情の差

映画を見るときに一番利用回数の多い方法を聞き、レンタルが多い人をレンタル派、映画館が多い人を映画館派として、映画を見た後の気持ちについて集計した結果を図2-2-8に示す。この図は映画鑑賞後の気持ちに対して、「1. よくある」～「4. 全くない」の4段階評価をしてもらい、その平均値を求めたものである。1に近ければ感じる気持ちの度合いが高くなっている。

映画を見た後で持つ気持ちのなかで「面白さ」が一番あると答えた人がどちらの媒体を通して也多かった。それに対して「恐怖感」と答えた人が一番少なかった。全体的に見て、全て値が3以下なので、この設問の感情は半分以上の人に支持されていることが分かった。

ほとんどの感情でレンタル派と映画館派の明確な差はなかったが、「憧れ」「悲愴感」「恐怖感」では映画館派の方が少なかった。この3つの感情は別に映画館で映画を見ることに求めているのかもしれない。

図2-2-8 映画鑑賞後の気持ち



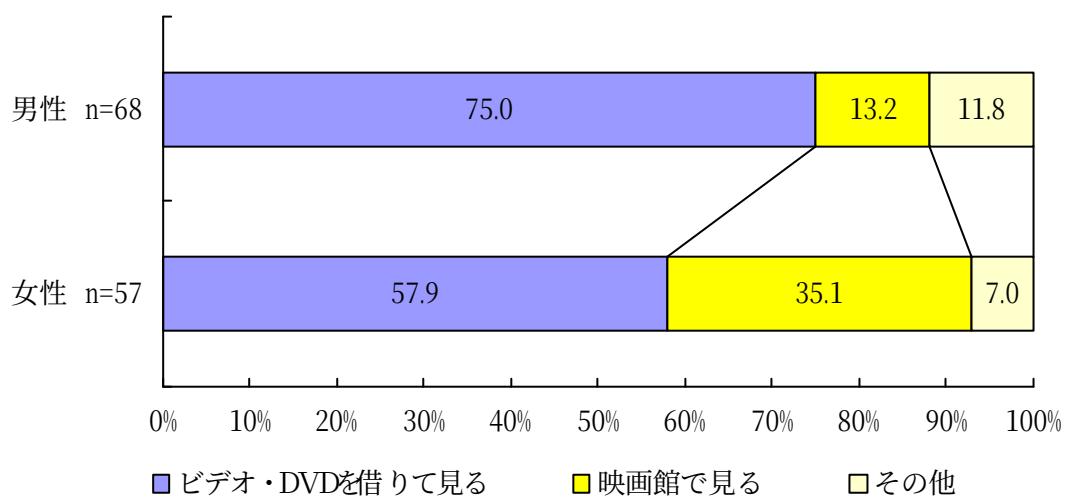
2. 3 映画に対しての男女の差

(1) 映画を見る媒体の男女差

映画を見るとき一番利用する媒体について、男女別に集計した結果を図2-3-1に示す。

男性はレンタル派の人が75%で圧倒的に多く、映画館派の5倍以上もいる。女性もレンタル派の人が約58%で半分を超えているが、映画館派の人でも約35%と男性のような差はなかった。なお、 χ^2 乗検定は $p=0.015$ と有意差があった。ゆえに、女性のほうが映画館で映画を見る回数が多く、男性のほうがビデオをよく見ることが分かる。

図2-3-1 性別の媒体利用傾向 (χ^2 乗 $p=0.015$)

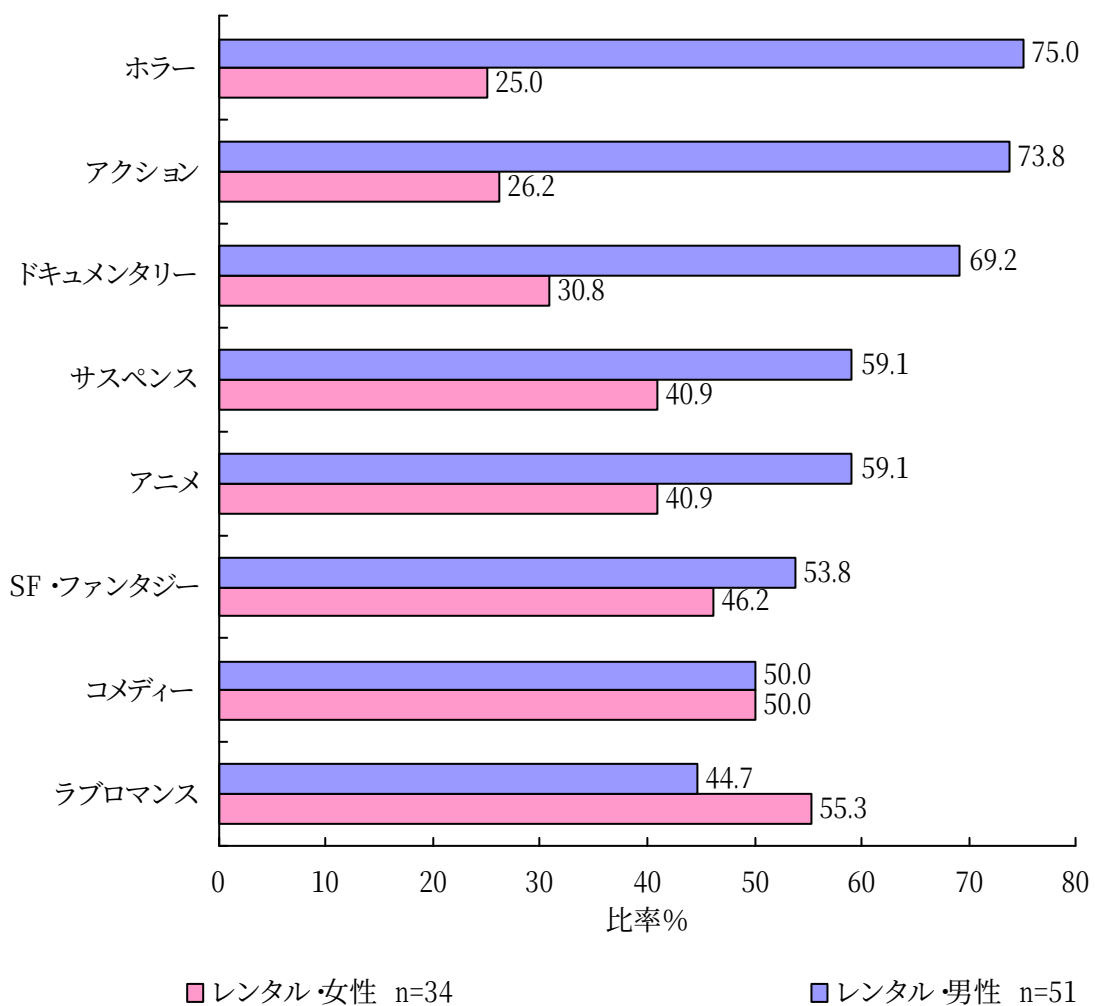


(2) 媒体別映画のジャンルと男女差

1回／月以上レンタルする人のレンタルで見るジャンルについて集計した結果を図2－3－2に示す。

男性が一番レンタルする「ホラー」は女性には一番レンタルされていなく、反対に女性が一番レンタルされている「ラブロマンス」は男性には一番レンタルされていない。これに関連して男性の人気ジャンル順位の逆パターンが女性の人気ジャンル順位という傾向が見える。女性が一番レンタルするジャンルの「ラブロマンス」は約56%である。このことから男性の75%がレンタルする「ホラー」に比べて、女性はレンタル利用時に女性のほとんどが借りるというジャンルはないことが窺える。

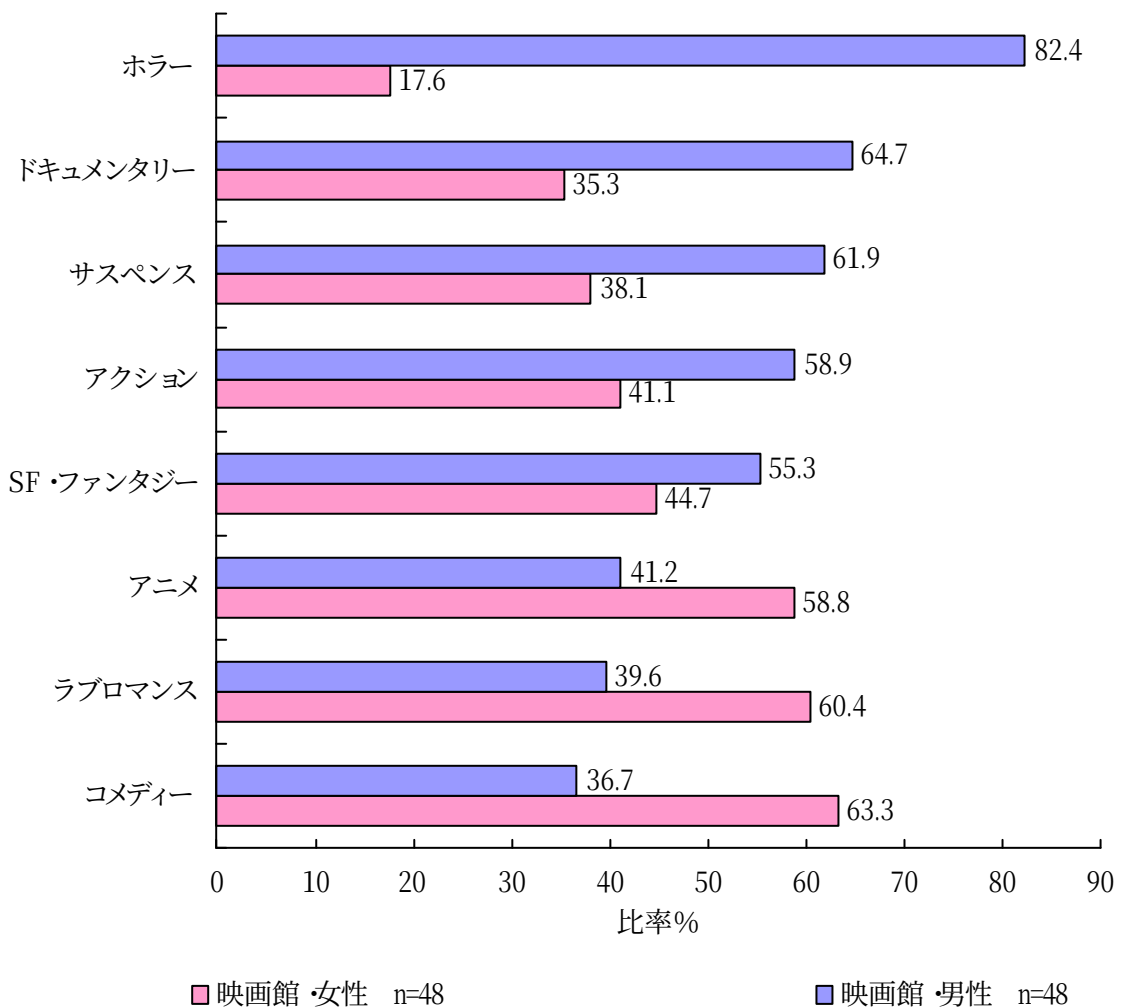
図2－3－2 レンタルで見るジャンルの男女差



1回／半年以上映画館に行く人の映画館で見るジャンルについて集計した結果を図2－3－3に示す。

図2－3－2と同じように、男性が一番レンタルする「ホラー」は女性には一番レンタルされていなく、反対に女性に一番レンタルされている「コメディ」は男性には一番レンタルされていない。やはりここでも男性の人気ジャンル順位の逆パターンが女性の人気ジャンル順位という傾向が見える。

図2－3－3 映画館で見るジャンルの男女差

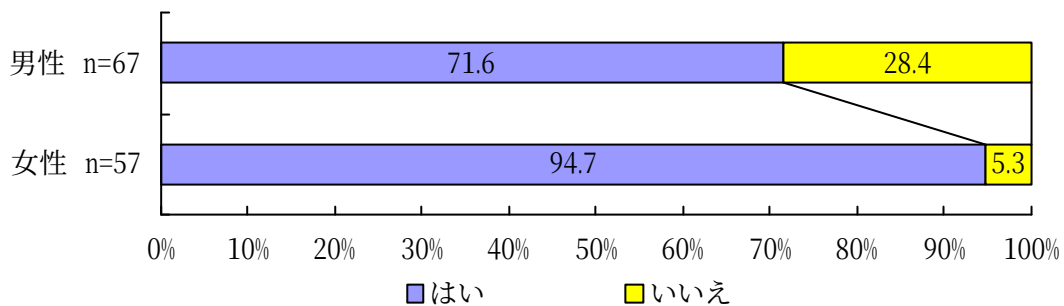


(3) 映画を見て泣いたことがあるかどうかの男女差

映画を見て泣いた経験の有無について集計した結果を図2-3-4に示す。

男性は7割を超え、特に女性は9割も超えている。男性はあまり泣かないのかと思っていたけれど、思ったより映画を見て泣くということが分かった。なお、 χ^2 乗検定は $p=0.001$ と有意差があった。ゆえに、女性の方が男性よりも映画を見て泣いた経験があるということが分かる。

図2-3-4 映画を見て泣いた経験の有無 (χ^2 乗 $p=0.001$)



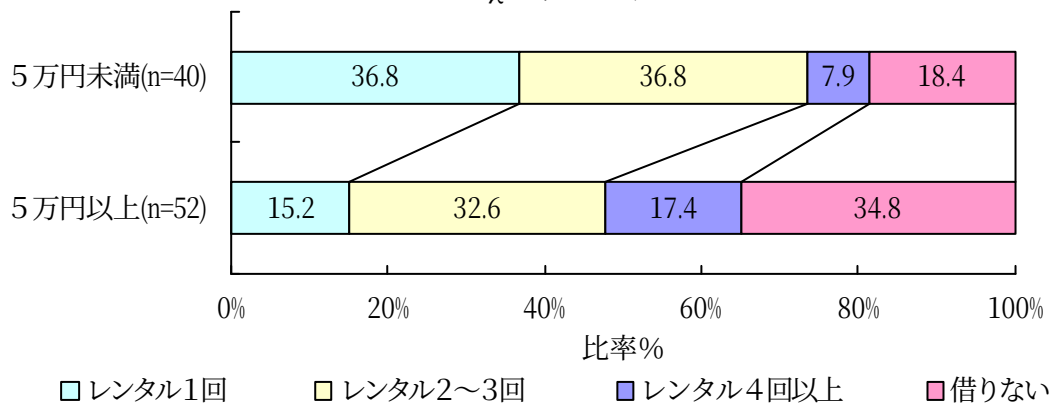
2. 4 時間的、金銭的方面から見た映画

(1) 金銭感覚と映画

アルバイトで1ヶ月に稼ぐ金額とレンタル利用回数/月について集計した結果を図2-4-1に示す。

アルバイトで1ヶ月に稼ぐお金が5万円以上の人たちの方が全体的にレンタルの回数が少ない。このことからレンタルする回数は金銭的余裕があるから増えるというわけではないようだ。なお、 χ^2 乗検定は $p=0.058$ で極めて有意差に近いレベルにある。

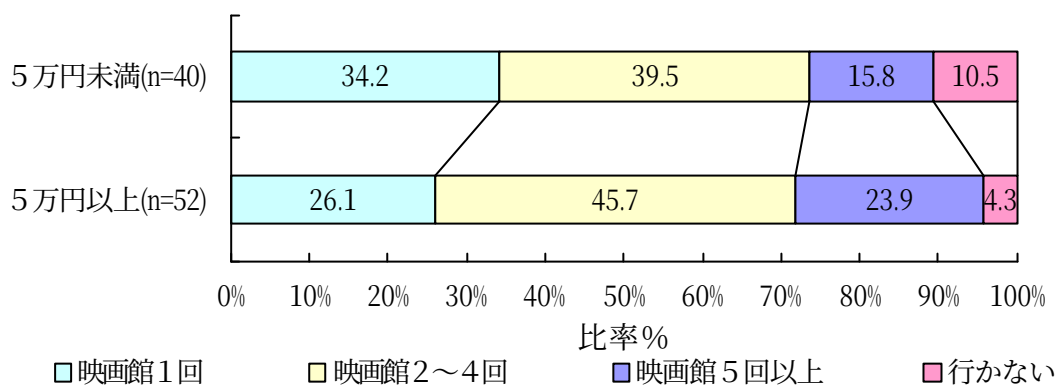
図2-4-1 アルバイトで稼ぐお金とレンタル利用頻度 (χ^2 乗 0.058)



アルバイトで1ヶ月に稼ぐ金額と映画館利用回数／半年について集計した結果を図2－4－2に示す。

アルバイトで1ヶ月に稼ぐお金が5万円以上の人たちの方が全体的に映画館に行く回数が多い。このことから映画館に行く回数は金銭的余裕があるから増えるという傾向が見えるが、断定はできない。 χ^2 乗検定は $p=0.487$ と有意差がなかった。

図2－4－2 アルバイトで稼ぐお金と映画館利用頻度
(χ^2 乗 $p=0.487$)

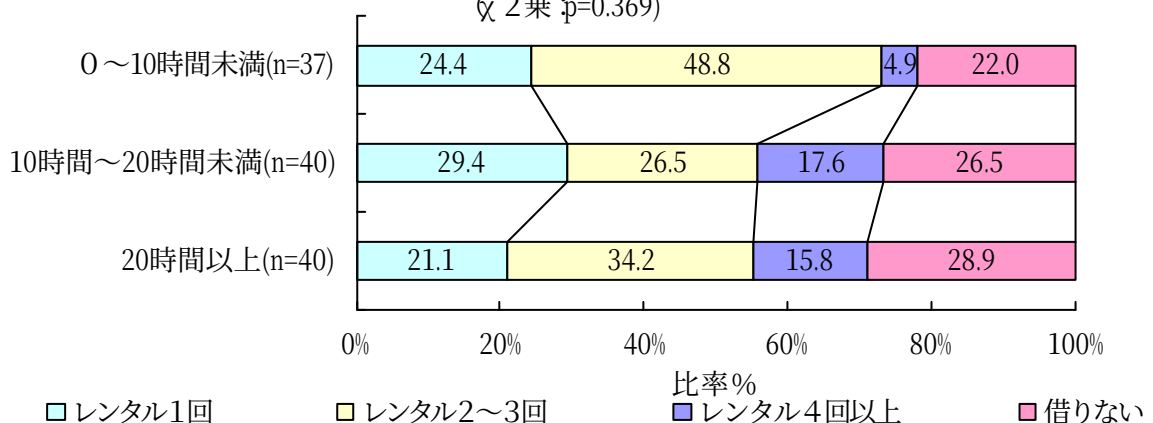


(2) 時間的余裕と映画

アルバイト・部活動・サークルでの1週間の活動時間とレンタル利用回数／月について集計した結果を図2－4－3に示す。

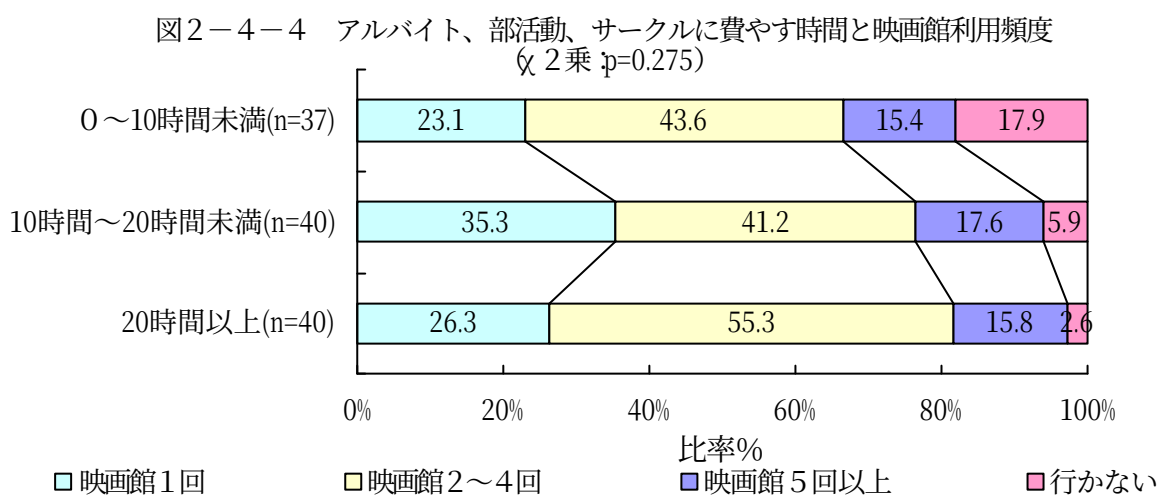
アルバイト・部活動・サークルなどに時間を20時間以上費やす人の方がレンタル利用する回数が少ない。このことからレンタルする回数は時間的余裕があるから増えるという傾向がありそうだが、 χ^2 乗検定では有意差がなく断定はできない。

図2－4－3 アルバイト、部活動、サークルに費やす時間とレンタル利用頻度
(χ^2 乗 $p=0.369$)



アルバイト・部活動・サークルでの1週間の活動時間と映画館利用回数／半年について集計した結果を図2-4-4に示す。

アルバイト・部活動・サークルなどに時間を20時間以上費やす人の方が映画館に行く回数が多い。このことから映画館に行く回数は時間的余裕があるから増えるという傾向がありそうだが、 χ^2 乗検定では有意差がなく断定はできない。



第3章 まとめと今後の課題

<まとめ>

レンタルと映画館を比較して、レンタルはただ作品を楽しむ。映画館は雰囲気、迫力、映像、音響を楽しむ。レンタル重視で考えたわけは、今、一番身近で、ランキングが出て、人が一番映画というものに何を求めているかが分かるからである。レンタルされるものは映画館で上映されたものがほとんどだ。それにより、対極の調査対象として映画館も調べた。レンタル派と映画館派が求めているものの差は、感情というよりも設備的なものであった。

私たちにとって映画とは空き時間に関係しているが、時間が余っているから映画館に行くわけではない。逆に忙しい人のほうが映画館に行く頻度は高いという結果が出た。金銭的な面ではやはりアルバイトしていて月に5万円以上稼いでいる人が映画館に行く頻度が高いということが分かった。

<今後の課題>

設問の中で家からレンタル店までの距離を聞けばよかった。その距離や時間を聞いておけば、家から近い人と家から遠い人で頻度などが変わったかもしれない。

もっと言いたいことがはっきりした調査票にしたかった。仮説と中の調査票で一致していないところがあり、何を言っているのか分からないところがあった。

集計に必要な設問があった。作っている段階では必要だと思えたが、実際集計してみると使わない設問があり、余計に迷った。

<参考文献>

- Amanet 考える人々 <http://www2.plala.or.jp/amanet/people/index.htm>
J.オーモン 他 「映画理論講義」 2000 勁草書房
加藤幹郎 「映画とは何か」 2001 みすず書房
佐藤忠男 「映画をどう見るか」 1978 講談社

「私たちが映画に求めるもの」

2005/10

情報学部 広報学科3年 井坂裕子

ゼミナール研究のための調査です。ご協力お願いします。

映画についてお聞きします。皆さんお答えください。

問1. あなたは映画館、レンタル、テレビに関わらず映画を見ますか？（1つだけに○） n=130

1. よく見る 30.0	2. ときどき見る 49.2	3. あまり見ない 16.9	4. 見ない→問9へ 3.8
--------------	----------------	----------------	----------------

問2. 映画を見ると、一番頻度が多い方法はどれですか？（1つだけに○） n=125

1. ビデオ・DVDを借りて見る 67.2	2. 映画館で見る 23.2	3. その他→問5へ 9.6
-----------------------	----------------	----------------

問3. あなたは一ヶ月の間にどれくらいビデオ・DVDを借りますか？（1つだけに○） n=114

1. 1回 25.4	2. 2～3回 36.8	3. 4回以上 12.3	4. 借りない→問4へ 25.4
------------	--------------	--------------	------------------

付問1. あなたがビデオ・DVDを借りて見る理由について、下記のA～Kの項目ごとに答えてください。

（それぞれについて1つずつ○） n=85

	1. あてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. あてはまらない	6. 無回答
A. 手軽だから	61.2	24.7	5.9	3.5	3.5	1.2
B. 映画館に比べて安いから	62.4	21.2	9.4	2.4	3.5	1.2
C. 何度も見られるから	28.2	14.1	23.5	20.0	14.1	0
D. ゆっくり見られるから	55.3	22.4	15.3	5.9	1.2	1.2
E. 見たいところから見られるから	15.3	20.0	23.5	17.6	23.5	0
F. いつでも楽しめるから	43.5	24.7	15.3	9.4	7.1	0
G. ゆっくり内容について考えたいから	21.2	10.6	24.7	23.5	18.8	1.2
H. 知らない映画に出会えるから	25.9	16.5	25.9	16.5	15.3	0
I. ランキングなどで流行が分かるから	10.6	12.9	30.6	24.7	20.0	1.2
J. お金を払ってまで見たくないものでも見る気になるから	17.6	22.4	22.4	18.8	17.6	1.2
K. なんとなく借りる	17.6	30.6	25.9	8.2	17.6	0

付問2. あなたがビデオ・DVDを借りるジャンルは何ですか？（いくつでも○） n=85

1. アクション 49.4	2. ラブロマンス 44.7	3. コメディ 42.4
4. SF・ファンタジー 45.9	5. ドキュメンタリー 15.3	6. サスペンス 25.9
7. ホラー 23.5	8. アニメ 25.9	9. その他 12.9

問4. あなたは半年の間にどれくらい映画館に行きますか？（1つだけに○） n=114

1. 1回 27.2	2. 2～4回 45.6	3. 5回以上 15.8	4. 行かない→問6へ 9.6
5. 無回答 1.8			

付問1. あなたが映画館で見る理由について、下記のA～Lの項目ごとに答えてください。（それぞれについて1つずつ○） n=103

	1. あてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. あてはまらない	6. 無回答
A. 迫力があるから	71.8	20.4	3.9	1.9	0	1.9
B. 音響がいいから	63.1	24.3	6.8	2.9	1.0	1.9
C. 映像がきれいだから	53.4	23.3	15.5	4.9	1.0	1.9
D. 最新作が見られるから	65.0	23.3	4.9	2.9	1.9	1.9
E. 映画館の雰囲気が好きだから	43.7	23.3	13.6	15.5	1.9	1.9
F. 特典がついているから	5.8	4.9	39.8	19.4	27.2	2.9
G. 知らない映画に出会えるから	10.7	12.6	31.1	19.4	24.3	1.9
H. 予告が楽しいから	12.6	18.4	21.4	20.4	25.2	1.9
I. 金銭的な余裕があるから	14.6	11.7	21.4	29.1	21.4	1.9
J. 時間的な余裕があるから	15.5	16.5	23.3	24.3	17.5	2.9
K. 自分と同じ所で他の人が笑ったり泣いたりしてくれることがうれしいから	8.7	6.8	19.4	22.3	40.8	1.9
L. なんとなく行く	16.5	11.7	25.2	13.6	31.1	1.9

付問2. あなたが映画館で見るジャンルは何ですか？（いくつでも○） n=103

1. アクション 54.4	2. ラブロマンス 51.5	3. コメディ 29.1
4. SF・ファンタジー 45.6	5. ドキュメンタリー 16.5	6. サスペンス 20.4
7. ホラー 16.5	8. アニメ 16.5	9. その他 7.8
10. 無回答 6.8		

※この付問2に答えた人は、問6へお進み下さい。

問5. あなたがよく見る映画のジャンルはどれですか？（いくつでも○） n=12

1. アクション 50.0	2. ラブロマンス 41.7	3. コメディ 33.3
4. SF・ファンタジー 50.0	5. ドキュメンタリー 25.0	6. サスペンス 33.3
7. ホラー 16.7	8. アニメ 33.3	9. その他 25.0

問6. あなたは次のA～Iのきっかけで映画を見る場合、映画館とビデオ・DVDレンタルとどちらが多いですか？項目ごとに答えてください。（それぞれについて1つずつ○） n=125

	1. 映画館が多い	2. 映画館がやや多い	3. どちらともいえない	4. レンタルがやや多い	5. レンタルが多い	6. 無回答
A. 予告を見たとき	29.6	24.0	28.8	11.2	6.4	0
B. 好きな出演者や監督のとき	17.6	14.4	52.0	10.4	5.6	0
C. 芸能人がCMでPRしているとき	11.2	8.0	60.8	12.0	8.0	0

	1. 映画館 が 多 い	2. 映画館 が や や 多 い	3. どちら とも い え ない	4. レンタ ル が や や 多い	5. レンタ ル が 多 い	6. 無回答
D. 雑誌、新聞など紙媒体で見たとき	12.8	18.4	48.0	14.4	6.4	0
E. クチコミで聞いたとき	17.6	14.4	33.6	25.6	8.8	0
F. 気分転換したくなったとき	21.6	18.4	34.4	15.2	9.6	0.8
G. 感動したいとき	22.4	15.2	36.8	12.0	13.6	0
H. ヒマなとき	16.8	9.6	31.2	23.2	19.2	0
I. なんとなく	11.2	2.4	55.2	13.6	16.0	1.6

問7. あなたが映画を見てどういう感情を持つことが多いですか？下記のA～Iの項目ごとに教えてください。（それぞれについて1つずつ○） n=125

	1. よくある	2. 時々ある	3. あまりな い	4. 全くない	5. 無回答
A. 楽しさ	67.2	27.2	3.2	1.6	0.8
B. 面白さ	66.4	30.4	0.8	1.6	0.8
C. 憧れ	30.4	29.6	32.8	6.4	0.8
D. 幸せな気持ち	41.6	32.8	22.4	2.4	0.8
E. すっきり感	36.8	41.6	20.0	0.8	0.8
F. ドキドキ感	50.4	40.0	7.2	1.6	0.8
G. 感銘	38.4	41.6	16.8	1.6	1.6
H. 悲愴感	23.2	33.6	31.2	11.2	0.8
I. 恐怖感	22.4	20.0	37.6	19.2	0.8

問8. 映画を見て泣いたことがありますか？（1つだけに○） n=125

1. はい 81.6	2. いいえ 17.6	3. 無回答 0.8
------------	-------------	------------

ここからは皆さんお答えください。

問9. あなたはアルバイトをどれくらいしていますか？（1つだけに○） n=130

1. 週1回 4.6	2. 週2回～週4回未満 61.5	3. 週5回以上 3.8
4. していない→問10へ 28.5	5. 無回答 1.5	

付問1. アルバイトで毎月どれくらい稼いでいますか？（1つだけに○） n=93

1. 1万円未満 3.2	2. 1万円～3万円未満 11.8	
3. 3万円～5万円未満 28.0	4. 5万円以上 55.9	5. 無回答 1.1

問10. あなたはアルバイト・部活動・サークルにどのくらい時間を費やしますか？（1つだけに○） n=130

1. 3時間未満 3.8	2. 3時間～10時間未満 24.6	3. 10時間～20時間未満 30.8
4. 20時間以上 30.8	5. 入っていない 9.2	6. 無回答 0.8

※裏面へつづく。

最後にあなた自身のことについてお聞きします。

F 1. 性別 n=130

1. 男 55.4	2. 女 44.6
-----------	-----------

F 2. 学科 n=130

1. 広報 43.8	2. 経営情報 18.5	3. 情報システム 13.8
4. 国際コミュニケーション 9.2	5. 国際関係 11.5	6. 短大 3.1

F 3. 学年 n=130

1. 1年 16.9	2. 2年 23.1	3. 3年 55.4	4. 4年 4.6
------------	------------	------------	-----------

F 4. 血液型 n=130

1. A型 43.8	2. B型 20.0	3. O型 26.2	4. AB型 9.2
5. 分からない 0.8			

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。